

ご あ い さ つ



会 長 岩 田 清

五十嵐前会長の後任として、平成28年度より会長を務めさせていただくことになりました。私自身、ミニバスケットボール活動にかかわり40年近くになろうとしています。これまでお世話になった先輩方の熱い思いを受け継ぎ、横浜市ミニバスケットボール連盟の発展のために微力ながら、みなさまとともに力を尽くしていきたいと思っております。

さて、みなさまもすでにご存じのように、この横浜市ミニバスケット連盟からは、たくさんの日本を代表する選手が巣立っていっています。もちろん本人やチームメイト、そして指導者・保護者の方々の並々ならぬ努力があったればこそですが、それに加えて、連盟に所属しているすべてのチームのひたむきな日々の活動の賜物だと考えています。横浜から日本を代表する選手を輩出し、日本のバスケットボールの裾野を広げることがこの活動のねらいとしてあげられます。

しかし、そのことに勝るとも劣らない大きなねらいとして、子供たちの自信を育てる場であるということがあげられます。試合に勝つこと・大会で優勝することは結果にすぎません。自信を育てる場面は、結果ではなくその過程にあるのです。一生懸命に練習して、今までできなかったプレイができるようになった時、つらくて大変なディフェンス練習を最後までやりきれた時、仲間との連携プレイが完成した時等々。一つ一つの場面を通して子供たちの自信を育てていくことが大切です。「人を育てるとは、自信を育てる」ということが言えると思います。そして、指導者や保護者のみなさんにとって重要なことは子どもの努力、成長を見逃さない目をもつことです。

もう一つバスケットボールを通して子供たちに学んでほしいこと、それはチームワークです。仲間の大切さをバスケットボールを通して、肌で感じ取ってほしいと思います。私はチームワークとは、相手のことを思いやる心に通じると考えています。ですから、バスケットだけに限らず、「家族」というチーム、「クラス」というチームの中で、バスケットで培ったチームワーク、相手に対する思いやりの心を発揮できることを期待します。

そして、これらバスケットボールを通して身に着けた力は、必ず一人一人の子どもの未来に役立つと信じています。

指導者・保護者のみなさま、ミニバスケットボール活動の趣旨をご理解いただき、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成30年 6月